

令和5年度 自己評価（青いとり保育園・おとぎの森保育園）

《基本理念》

青い空、青い海のような心の深い人になります。生命の大切さを知り、いたわる気持ち、感謝の気持ちを大切に、一つひとつの事を素通りせず、誰とでも一生懸命向き合える心を持ち、人として清く正しく、ときには遊び心も持ち合わせながら喜び合い、分かち合い、人との繋がりを大事にします。私たちは、いろいろな色を受け入れる人と人をつなぐにじの橋となり、一人ひとりの夢を育む心のよりどころであり、いつでも誰かが待っている場所でありたい。

《保育理念》

社会福祉法人「虹の色福祉会」は、児童福祉法に基づき、子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの命の大切さを教えながら仲間同士の連携を保ち、子ども達が常に笑顔でいられる雰囲気作りを意識して保育を行う。さらに地域における家族援助を行うよう心掛けています。

《保育目標》

保育指針の基本を正しくふまえ、更に健康、美と創造、思考を柱として当園ならではの特色を生かし、心豊かな人間を目標として明るく自主性のある子を育む。

☆陽の光のように … 生き活きた元気な子

☆深い海のように … 創造性豊かな子

☆土のたくましさ、風のやわらかさのように … よく遊べる子

☆羽ばたく鳥のように … 情緒豊かな子

保育所保育指針において『「保育の内容等 の自己評価」として、保育士等は自らの保育実践を評価するよう努めること、またこれを踏まえて保育所は保育の内容等について自ら評価を行い、その結果の公表に努めなければならない。』ことが示されています。それを踏まえ自己評価を行いまとめました。

～以下の基準で自己評価を行って下さい。～

- A — 理想的な取り組み（できている）
- B — 取り組みを行い通常行われている状態（わりとできている）
- C — 頑張らないといけない状態

	評価項目	評価
基本方針・人権尊重	① 当園の基本理念及び保育目標、基本方針を理解している。	B
	②子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
	② 保育中の子どもの人格尊重を意識している。	A
保育の計画	①当園の保育目標、基本方針に基づいて、クラスの年間保育目標や指導計画を作成している。	A
	③ 担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A
	④ 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④日常の保育を通して子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている。	A
	⑤指導計画の評価、検討を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	A
	⑤ 自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	B
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を深め、その思いをできるだけ受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。(身近な自然や社会と関われるような取り組み、様々な表現活動が体験できるような取り組み等の環境構成を意識している。)	B
	④静と動のある生活を取り入れている。	A
	⑤遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	A
	⑥気になる子への配慮された保育・教育が行われている。	A
	⑦職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている。	A
保育環境	①園舎内外、保育室の整理整頓に努め、いつも子ども達が心地良く過ごすことができる保育環境を心掛けている。	A
	②自然体験や伝統的な行事を取り入れ、心が豊かになるような取り組みをしている。	B
	③日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心をもつ工夫をしている。	B
健康管理	①登園時や保育・教育中の子どもの健康管理は、一人ひとりの発育・発達状況・健康状態に応じて実施している。	B
	②感染症等予防に配慮した保育・教育を実施している。(手洗いなど)	A
	⑥ 予防接種の状況を定期的に把握している。	C

	評価項目	評価
食事	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲に育つよう工夫している。	A
	②子どもの食生活を支えるために、家庭と連携している。	A
	③食物アレルギーは個別に配慮して、食事を提供している。	A
	④調理員を交えて会議等で意見を交わしながらより良い食事の提供ができるよう努めている。	B
安全・衛生・危機管理	① 事故や災害に適応できるマニュアルがあり、全職員が周知している。	B
	② 安全管理のマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。	B
	③ 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。(安全点検など)	A
組織・役割分担	① 職場内で連携がとれている。又は努めている。	B
	②職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」ができています。	B
	③職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	B
	④保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B
	⑤各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A
	⑥各職員が会議などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	A
	⑦保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。(研修への参加等)	A
	⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	B
保護者支援・地域支援	①保護者に対して気持ちの良い対応を心がけている。(言葉使い、態度)	A
	②送迎時に子どもの姿を保護者に伝えるようにし、連携をとるようにしている。	A
	③保護者の育児相談や地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行うよう努めている。	B
	④ 保護者や地域の意見を保育等に反映できることは積極的に行っている。	A
	⑤ 地域の方々に保育について理解を得、協力依頼するなど、連携を行っている。	A
	⑥子ども達が戸惑うことなく、小学校の生活や環境に慣れるよう、小学校との連携を行っている。	C
	⑥ 中高生などの保育体験・実習生、ボランティアの受け入れを行っている。	A
⑦ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている。	A	
秘密義務の 遵守	①保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	A
	②保護者や地域の人から相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている。	A

< 総合評価 >

評価科目で B（取り組みを行い通常行われている状態（わりとできてる））の評価の箇所は職員全員で意識し、A（理想的な取り組み（できている））に近づけるよう努力していく必要性を感じました。その中でも今ある環境で出来る事を探し、子どもにとってより良い生活が送れるよう努力します。また、人権尊重を更に勉強し、子どもの人権が守られるようにしていく。「主体的な保育」が少し弱い部分でもあるので、そこを見直していかなければならないと感じる。

C（頑張らないといけない状態）の科目は少しでも B 評価に近づけるよう努力していく必要性を感じました。